

『地域のために、地域とともに』 (有限会社グリーンワーク)

＜法人の概要＞

所在地：島根県出雲市

設 立：平成 15 年 8 月

資本金：1,920 万円 売上高：4,750 万円（平成 23 年）

構成員（議決権）：農業従事者 32 名（100%）

役 員：5 名（うち農作業従事 2 名）

従業員数：常時雇用者 6 名、臨時雇用者 9 名

経営面積：20.5ha（うち所有 0ha、借入 20.5ha）基幹農作業受託面積：16.0ha

作付作物：米 14.9ha、米粉用米 1.1ha 飼料用米（WCS）4.5ha



標高差 250m 雲海の中で米作り



水稻苗作り作業

＜営農を開始するまでの状況＞

10 数年前まで各農家が個々に農業機械を持ち、土・日に作業をする兼業農家が主流で、代々受継いだ農地を守り続けていた。

しかし、農業の経営は一段と悪化し、機械のコストは上がり米価は下がる状況下に直面していた。ただでさえ山間地農業は様々なリスクを負っている。

なかでも湿田と棚田での作業は、農業機械の激しい消耗と作業時間のロスに耐えながら、採算性よりも農地をいかに守るかが先決問題であった。

そのような中、我々の地域も農業従事者の高齢化、担い手不足は他の地区以上であり、離農農家が目立ち農地の荒廃化が現実視されるようになって来ていた。

これまでに山間地では、減反政策などに伴い奥地の利便性の悪い水田から放棄し、里山周辺の水田は最後の砦でとなっていた。その守らなければならない最後の水田も、耕作放棄地が少しずつ拡大し農家の周辺にまで迫っていた。

中山間地域に於いては特に「農が廃れば地域が廃る」の通り、地域農業の活力が衰退すれば地域の活力もあわせて衰退する。まさに共存関係にあることを地域住民

も薄々分かり始めていた。地域の活力を維持し、地域農業をこれ以上衰退させない議論が高まっていた。

＜特徴的な取組＞

「地域のために、地域とともに」をスローガンとし、基幹事業の稲作を中心として、農業以外の分野の事業にも取組み、経営の多角化を図っている。

現在、農外部門の取組みは6部門で、会社形態での農業法人の利点を活かし、年間雇用の創出と、安定した収入の確保を実施している。

あわせて「高齢者外出支援サービス事業」「弁当配食サービス事業」など、地域貢献型営農と呼ばれる、農業を軸としながら地域の維持につなげて行くサービスの提供を実施している。

また、水田周辺の草刈り作業の軽減を図るため羊の放牧事業を実施し、草刈部隊として現在5牧場で45頭を放牧している。昔懐かしい光景が広がり情緒を見いだしている。また、刈取った羊毛を活用し「メリーさんの会」を設け、製品作りから販売まで手掛け、会員仲間10人が活動している。

＜今後の農業経営の展開方向＞

効率的な経営を追求しながら、一方では地域住民と共に歩む地域貢献型営農に更なる努力を行う。あわせて経営の多角化を更に推し進め、安定した年間雇用の場を創出し、正社員で運営対応ができる農業法人を目指していく。

また、増える作業委託希望農家と、会社運営の根幹を期す経営の採算ベースとを、地域の担い手としてどう携わっていくか、農業経営の大きな課題となってくる。

＜今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス＞

営農活動をより強固にし、法人格を持つことによって農地集積や、政策的な資金導入を可能にする。それによって地区内の永続的な営農基盤の確立を図っていく。

今この理念が必要視されていると思いますので、自信を持ってチャレンジして下さい。



草刈部隊 羊の放牧事業



高齢者外出支援サービス事業